

令和8年度 西伊豆町教育委員会第4回定例会会議録

- 1 開催日 令和8年7月15日（水） 13:30～
- 2 場 所 西伊豆町中央公民館 1階 講義室
- 3 出席者 森真治教育長、高橋浩委員（職務代理）、影山やえみ委員、眞野有吏委員
長島宗紀委員
〔事務局 佐野浩正〕
- 4 欠席者 なし
- 5 傍聴者 なし

教 育 長：本日の出席者は、5名です。過半数に達していますので、ただ今から令和8年度第4回の定例会を開催いたします。

議事録の承認についてですが、令和8年6月15日開催の令和8年度第3回定例会の議事録については、私と影山委員が確認し署名いたしましたので、ご承認いただいてもよろしいでしょうか。

（委員：全員異議なし）

教 育 長：ありがとうございます。

続きまして、今回の議事録署名委員ですが、長島委員にお願いしたいと思いますが、よろしいでしょうか。よろしくお願いします。（長島委員：了解）

教 育 長：それでは、議題に入ります。日程3「令和7年度西伊豆町教育委員会の自己点検・評価報告書の議会への提出について」を議題とします。事務局から説明をお願いします。

佐 野：それでは議案第5号をご覧ください。こちらは地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条第1項の規定に基づきまして、議会へ報告したいものでございます。提案理由は記載のとおり、西伊豆町教育委員会評価委員会から教育委員会に、教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況に対して、外部の視点から評価した結果が提出されたためでございます。それではA4横の、令和7年度西伊豆町教育委員会自己点検評価報告書案をご覧ください。1ページ目をお開きください。前回から変更箇所についての説明を申し上げます。1ページ目の1番上段です。（1）の教育委員会会議運営の会議の中の教育委員会会議の開催回数でございます。ここについては、付け足しの言葉を文言入れましたので読み上げさせていただきます。町教育の充実に向けた審議とあと、事務事業の円滑な推進に努めましたというところの最後の一文を記載してございます。続きまして、教育委員会会議の運営上の工夫ということでございます。ここにつきましても、最後のところの文言を丁寧に書いております。前回ですと、案件に対する理解を努めました後、速やかな会議運営に努めましたという言葉を入れてございます。それから、（2）の教育委員会の会議公開、保護者や地域住民の情報発信の教育委員会会議の公開の状況でございます。これにつきましては、文言の中の開催告知は、開催日のおおむね、2週間前までに準備したということを入れてございます。続きまして議事録の公開、広報広聴活動の状況です。ここについても簡単な文章でしたけれども、おおむねもう少し説明書きを加えております。議事録の作成については、時間を要する場合もありましたが、

着実にいき、定例会のおおむね10日までに完了し、町のホームページに掲載することができ、迅速な対応としました。ということで書いてございます。続きまして(3)教育委員会の事務との連携でございます。その説明文でございますけれども、前回は省略した書き方をしてございました。県教委だとか町の状況だとかっていう形をもう少し丁寧に説明文を書いております。読み上げます。会議終了後には、県教育委員会の状況や町の動向、事務事業の進捗などの情報提供に努めるとともに、懸案事項などについて意見交換を行い、教育委員会と事務局との連携強化を図りました。ということでございます。続きまして、(4)の教育委員会と首長の連携について、文面がずっとつらなってるので、どこが線引きなのか分からないっていうことだったので、今読み上げます。中段のところです。第1回の会議では、組合立中学校の設立に向けて、認定こども園候補地の調査の結果について、それから教育施設全般について、区切られてましたけど、そのあとに言葉を入れており、話し合いが行われましたという形で書いてもらっております。次、(5)のほうに移ります。研修会等の自己研さんということで、おおむね、前回の指摘は、昨年度、今年度っていうような表記がちょっと分かりにくいっていう指摘がございましたので、ここについては、年を入れることにいたしました。前回の記述は今年度って書いてありましたが、これを令和7年度っていうふうな形で直してございます。続きまして(6)園・学校及び教育施設に対する支援・条件整備の園、学校訪問のところでございます。ここに付きましても、もう少し丁寧に文章を記載しております。読み上げます。教育委員会定例会に併せて園・学校訪問を実施しました。園長や校長から、子供の様子や施設の状況などの説明を受け、小学校では、学校給食を頂き保育の話など、教育・保育現場の現状を見聞きし、今後の教育行政に生かす視点を得ましたという形で付け加えてございます。その下の所管の施設の訪問でございます。これにつきましても文章は同じですが、最後にちょっと文言をもう少し丁寧に書きそえてございます。2行目です。旧田子中学校の文化財展示の視察を実施し、現状の把握に努めましたというような形にさせていただきました。1ページ目は、よろしいでしょうか。

2ページ目のほうに移ります。2ページ目の2の教育委員会が管理執行する事務の中の変更の箇所を申し上げます。(4)の教育委員会及び教育委員会の所管する学校その他教育機関の職員の任免その他人事に関するということで、教育長の任命から上程だとか、選定とかっていうような文言があったので、そこについては、直させてもらっております。読み上げます。教育長の任命について第9回定例会において審議し3月の町議会定例会に議案として上程しました。令和7年度末の学校長等の人事異動の内申について第9回定例会において、審議し承認されました。また、令和8年度の教育委員会事務職員の人事異動について、第10回定例会において審議し承認されました。という形で文言を直させていただきました。続きまして、(5)の教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価に関する事で、前回、書かしていただきましたけれども、ここについては、研修会っていうことではなくて、点検及び評価に関することを書きなさいということでしたので、全部直してございます。令和6年度の教育委員会関連事業の自己点検評価を行い、教育委員会評価委員会から意見とあわせて9月の町議会定例会で報告しましたということ

で、全面的に誤りでしたので、ここは直させていただきます。よろしいでしょうか。

次、3ページ目に移ってよろしいでしょうか。3ページ目はですね特段訂正があった箇所はですね、中段から下の(1)確かな学力と自立する力を育む教育の下から3段目、複式学級への対応っていうところ、その児童数の減少に伴い賀茂小学校から4、5年生って書いてあったんですけど、実際は3、4年生の誤りでしたので、ここは訂正させていただきます。

次に4ページ目に移ってよろしいでしょうか。4ページ目です。3の教育委員会が管理執行を教育長に委任する事務でございます。(1)の確かな学力と自立する力を育む教育の一貫教育の推進のところでございます。その1番下段のところの認定者数が、既存の認定者数が4人と合わせて6人給付って書いてありますが、これが誤りで、認定者の3人と合わせて5人っていうことでここは直させていただきます。続きまして、その下(2)の規範意識、豊かな心を育む教育の中の、地域環境づくりの推進の項目です。その項目の4行目、またのこのくだりで、各小学校5、6年生から議員として、前は、7人に書いてございましたが、6人で直させていただきます。続きまして、その下、青少年活動の推進です。ここについては、委員のほうから、昨年度の人数はもう説明で済んでおりいらないのではというご指摘がありましたので、直させていただきます。読み上げます。令和3年度から町内開催となった、わんぱくクラブは、以前は西天城高原牧場の家に宿泊していましたが、令和6年度からは、宇久須キャンプ場での宿泊に変更し、令和7年度は20名の募集に対し、26名の応募があり抽せんとなるほどの人気でしたっていう形で直させていただきました。それで大分すっきりしたかなと思います。その下、わくわく体験村のところに続きましては、令和6年度と直させていただきます。続きまして人材の育成のこの項目でございます。その2行目です。活動時間が20時間を超えた13人が、足し算が合わないっていうことで、確認をいたしました。これは12人ということで、12で直しましたのでご承知ください。よろしいでしょうか。

次、5ページ目に移ります。5ページ目の下段の(4)の教育環境の整備と教職員の資質向上の欄です。小項目が園・学校の再編のところになります。説明文の変更箇所を申し上げます。認定こども園の建設候補地選定について、両園のPTAから令和6年度って書いてありました、年度ではなくて度を取りました。令和6年11月18日にいたしましたので、ご承知ください。それから、1番下の下段から2行目、新たな動きとしましてと直させていただきました。あとはピロティ、盛土のところの概算費用を算出っていう形で追加をさせていただきます。

次、6ページ目をお願いしてよろしいでしょうか。(4)の教育環境の整備等教職員の資質向上の上から小項目の3つ目です。特別支援教育の推進と連携っていう中の説明文の4段のところの、昨年度を令和6年度って形で表記を直させていただきます。続きまして、児童生徒の心のケア、教職員の指導充実っていうところで説明文の変更箇所ですが、上から3段目のところを、今読み上げます。また、田子公民館に開設している適応指導教室ってそこ書いてございましたけど、適応指導教室ではなくて、教育支援センターにおいてっていうことで文言を変更させていただきます。続きまして、1番下段、(5)生きがい潤いのある生活を育む文化芸術の振興の芸術文

化活動の推進です。ここについては、最後の文言を直してございます。後継者不足による団体存続危機は継続しているを、継続していますというふうに直してあります。よろしいでしょうか。

次のページ、7ページ目です。7ページ全般につきましてはですね、昨年度って書いてある箇所については令和6年度、今年度って書いてある場合は、令和7年度ということで直してございます。それについては、芸術文化の育成支援、それから文化イベントの充実、図書館利用の促進、下に行きまして、スポーツレクリエーションの活動充実というところの項目については、昨年度については令和6年度、今年度については令和7年度っていう形で直させていただきました。よろしいでしょうか。

続きまして、8ページ目をお願いします。3、教育委員会が管理執行を教育長に委任する事務でございます。(6)の健康な生活を育む生涯スポーツの振興というところの中の指導者育成の確保と交流推進体制の整備、支援のところでございます。指導者育成確保の中の3段目のところも、今年度って書いてございますけど、そこを令和7年度にしてございます。いいですかね。交流推進の整備支援のところでございます。これは体育協会主催のしずおかスポーツフェスティバルは、昨年同様って書いてありましたけど、これを令和6年同様ということで直してございます。

続きまして(7)地域の誇り、郷土愛着を育む学習、文化財の保護のところでございます。小項目の3段目、文化財等の活用についてでございます。ここにつきましても年度を数字で直してございます。多いのでちょっと読み上げます。民俗文化財の貴重な財産を町民に知ってもらうため、令和7年度も文化財展示会を開催しました。昨年、令和6年度に引き続き、県の無形民俗文化財に登録されている人形三番叟を紹介する部屋を設けたりしたほか、県の有形文化財に指定されている宇久須神社の釣灯籠の展示を実施しました。来場者は、令和6年度の倍近くで、過去最高364人でしたということで直させていただきます。続きまして下から2段目の男女共同参画の意識改革でございます。これはですね。説明文の3段目のところの説明書きがですね。今後は計画の推進に向けた庁舎内の担当部間の密な連携を図りたいという文言だと、今までやってなかったように思えるじゃないかっていう指摘がございましたので、その文面を直させてもらいます。3段目のところ、文面を読み上げます。今後も計画の推進に向けて、より一層担当部署間との連携を図っていきますということで直させていただいております。

9ページ目は変更の箇所は特段ございませんでした。10ページ目についても、特に変更はございませんでした。11ページ目をご覧ください。社会教育関連のところの項目の4行目のところです。終わりのところになります。スポーツ合宿誘致や町内の小中学生を対象としたプロスポーツ教室を開催し、特色ある事業として取り組みましたということで、特色ある事業ということで、追加させていただきました。あと文化財のところの取組をですね、漢字だけになってましたので、それを取り組みというふうな表記にさせていただきました。変更箇所は、今申し上げた箇所でございます。そのあと評価委員の意見についても読み上げますが、全部言ったほうがいいでしょうかね、一旦ここで聞いたほうがいいですか。どうでしょうか。よろしいですか。

12ページ目をご覧ください。12ページ目はですね。評価委員会を6月30日と7月3日行いました。2回ほど行いまして、評価委員さんのほうから意見を聞かせて頂いて、この12ページのほうにまとめてございます。中段のところでございます。西伊豆町教育委員会の自己点検評価に対する意見の項目から読み上げさせていただきます。全体としての意見が三つほどございました。おおむねどの項目もAがつけられる中で、社会教育施設の老朽化や指導者育成、男女共同参画問題等のB評価は、逆に事務局の真摯な課題のとらえ方として高く評価できる。頑張ればすぐにAになる課題ではないだけに担当者の労苦も理解したい。続きまして、毎年この評価項目を読ませていただいているが、本当に多岐にわたる活動だけに、教育委員会事務局には感服する。この評価書は、これだけの活動をするのに、様々な団体との連携や意思疎通を図りながら、限られた人材と予算で1年間回していることの大変さをととてもよく理解できる内容となっている。次です。年々、子どもと若者が減少し、増加は高齢者のみの西伊豆町の環境の中で良い取り組みが見られる。また、様々な視点を持ち、学校教育に対する支援、援助をしており、事務局の真摯な活動に対し敬意を表したい。

続きまして教育委員会の活動でございます。全ての項目評価がAであることは、内容をみると理解できる。事務局サイドが各教育委員との関係をととても大切にしました丁寧に接していることも、各活動から読み取れる。今後もさらに継続してほしい。次です。教育委員会が抱えてる課題として、住民の関心の高さから言えば、やはり統合問題が一つ挙げられると思う。松崎との中学統合や小学校の再編成、幼稚園の候補地等、水面下では話が進んでいるのであろうが、あまり表だっては、聞こえてこない印象にある。

次のページお願いします。首長と教育委員との話合いで、どの程度のものが話し合われたのか。とても興味がある。次です。この「1 教育委員会の活動」の評価項目に対する説明文は、ほとんど令和6年度と変化がない。評価が同じ視点のみで行われているのか、もう少しいろいろな面から活動を評価していくことも大切なのではないかと思う。次です。取り組みばかりが記載されているが、手応えや成果についても記載されていると分かりやすく、もっと良いと感じる。

続きまして、教育委員会が管理・執行する事務です。令和7年度は、教育長の交代問題や学校長2名の異動人事など、大きな課題を持った話合いがなされたことと推察できる。事務局と教育委員との連携のもと、粛々と協議処理されたことと推察される。次です。旧田子中の文化財展示はとても委員が頑張っているのも、年々展示が見やすく分かりやすくなっていると思う。その点をよく理解して、施設見学が実施されたと理解している。各委員の文化財保護への理解や協力等をさらに具現化してほしい。例えば、文化財保護の予算増額や展示関係の補助についてなど、審議委員の要望にも耳を傾け、総合教育会議等の議題として上げていただくことで、さらに、整備が進み、よりよい社会資産になるのではないかと。

次です。教育委員会が管理執行を教育長に委任する事務です。特色ある学習の推進では、各学校ともとても頑張っているのではないかとということが読み取れる。学校経営において、学校長裁量が大きくなっている昨今、やはり校長の技量が問われる分野でもあるだけに、3名の校長の学校経営に対する強い思いが理解できる。次

です。JETプログラムは、学校教育だけではなく、いろいろな分野で影響していると思う。ALTの活用も、より具体的にまた効果的にするために、推進委員会を作成したということだが、そこでの内容や活動の評価等をこの項目の中でも触れてほしい。次です。保護者としては複式学級に対して手厚く補助教員を配置していただいたことはとても喜んでいると思う。以前、純然たる複式学級の授業を見たことがあるが、子どもたちと教員との人間関係ができていないと、高い学習モチベーションを保ちながら、2学年全ての児童が学習し、標準的学習水準を定着させることは難しいと感じたことを思い出した。その意味からも、この配置はとてもありがたく、有用な対応だと思う。次です。松崎高校のキャンパス制構想が現実化してきたことによって、中学生の進学傾向がどのように変化していくのかとても気になります。町の対応はとても高校生を大切にしていると感じられる。だからこそ、西伊豆町にとって有益な高校生となってもらいたいと願う。補助だけもらって後は無関係では、とても寂しく感じてしまう。そのようなことが起きないためにも、西伊豆町はすばらしい、ところだという「ふるさとの意識の醸成」を園小中から体験するような活動やボランティアなどに、多くの子供たちが積極的に関わってくれたらと願う。次です。部活動でのスクールバス利用に関しては、過日、悲しいバス死亡事故が起きているだけに、その運用マニュアル等もしっかり確立し、保護者等にも納得理解してもらい、また関係各位の説明責任が果たせる体制にしておく必要がある。部活動の地域展開については、なかなか進まない状況であるが、教えてもらえる人材がなく、環境が整っていない。経験者が教えてくれる環境と伸びたい子を伸ばせる環境環境をつくっていただきたい。社会教育では指導者や会員の高齢化、施設の老朽化等と、どこの市町も同じような課題を抱えていると感じる。やや乱暴な意見だが、切り捨てるところは切り捨てたり、またマンネリ化して継続が難しい事業などは、その内容を新しいことに切り替えたりしながら、舵を切り直すことも一つの方法だと思う。老朽化した施設はもう貸し出さないとか、存続が難しい団体は統合したり、解散したりしながら人口約6,000人の町の身の丈に合う活動をしていくこともありではないか。いろいろな教育環境で子どもたちの成長を促してくれてありがたく感じる。

規範意識豊かな心を育む教育の項目の中に、命の大切さやお互いの人権の大切さも入れていただきたい。各学校では一つの行事を行うと関わった人にアンケートをとり、よりよい活動になるように取り組み、次年度の計画に活かしていきます。その中で、さらにひと工夫すると良い取り組みになるのではないかという意見をもらいます。このような中で、子ども議会は良い取り組みと思える。新たな改善として5、6年生全員に問題意識を投げかけ、その中から代表を選ぶのはいかがか。良いものになっていく要素を見ていければと思う。

社会体育を実際に自分たちがやるということも大事だけれど、プロスポーツを観て感動するというような取り組みも良いと思われる。また、各種団体の支援など、きめ細かく計画的に進めてくれてありがたい。次、放課後児童クラブは、働いている保護者にとってすごくいい環境を与えていただいており、子供からも楽しみとされている取り組みでもあるため、一層の充実を望む。次です。子育て支援について、子供の特性を早い段階で見つけることはすごく大切なことだと思う。こども園の早

い段階で、子どもの特性をつかみ、よりよい指導ができるような検査を促して環境を整えてあげたい。保護者と園、学校との連携をより充実することを願う。というような形で意見をまとめさせていただきました。

教 育 長：ありがとうございます。説明が終わりましたが、ご意見やご質問があったらお願いします。

私から、1 ページ、1 の（2）議事録の公開、広報、広聴活動の状況の文章の終わり町のホームページに掲載することができ迅速な対応いしました、になっているので、迅速に対応しましたか。迅速な対応をしました。どちらかで。

佐 野：迅速な対応をしました。よろしいでしょうか。

高 橋：よろしいですか。2 ページ目なんですけど。1 番下のほうの斜線はいらないか。

佐 野：斜線の件ですか。

高 橋：評価がないのであれば、どうなのでしょう。事務局としては、項目が12あるから載せてると思うんだけど。

佐 野：はい。

高 橋：分かりました。あとね、評価に対することなんだけど、良久さん、毎年すばらしい文章で、詳しくないと書けないね。学校長だけじゃ、これだけ書けないよ。過大な評価だね。

教 育 長：そうですね、ちょっと大げさっていうか、過分じゃないかって言って直そうかっていう話もあったんですけど頂いた評価なので、こちらで変更しないでおきましょうっていうところが何点かあったですね。

高 橋：13ページです。1 番上の首長と教育委員との話合いがありますよね。どんな内容で話し合うのか聞きたいということなんだけど。

教 育 長：総合教育会議ですか。

高 橋：会議は、事務局から今のところの現状みたいのを説明して、あとは、議長が首長で行ってる。県の総会があるときの分科会の中で、浜松の教育委員から総合会議の話があって、事前に教育委員会で協議してね、首長に意見を求めたり、そういうふうに議題をつくってやってるんですね。去年は、事前に我々に意見がないかと局長が求めてきたんだけど、質問がなかったね。事務局のほうから、この問題を首長に聞いてみてくださいとかね。

佐 野：1 ページのところで、どんな会議かっていうと、総合教育会議のところは、議題として、組合立の中学校の設立に向けてと、認定こども園候補地の件というような感じぐらい。今年度については、明確な何かテーマっていうのを議論するっていうか、題目を提供するっていうのもありかなと思います。

高 橋：候補地の調査結果について、これも、首長から説明があったもので、我々が求めたものでなく、だいたい町長の情報を我々聞く必要のないような形で、こっちから求めていくってのはないんですね。そういうことで、また考えましょう。

佐 野：評価委員さんの意見についてはおおむね、会議であがった意見をですね、こういう形で上げさしてもらって、最後、言い回しの文言を修正して、こんな形でさせていただいていいでしょうか。

高 橋：いいじゃないですか。すごく細かく直してる。前よりよい。

佐 野：前の人の実績ですからね。令和7年度の職員たちが結構、頑張っていたと思ってお

ります。

教 育 長：ほかはいかがでしょう。はい、どうぞお願いします。

長 島：細かいところ、基本自己点検のは、基本的には、前回頂いたときには、中のことが細い字になってたんですけど、

佐 野：何ページ

長 島：10ページのところなんですけど、項目の1の項が太字になってまして、そのあと細字になってるんですよ。これ、全部太字になってるんで、どうも随分感じが違うな。見てたんですよ。

佐 野：字はですね、半角全角と混在していました、それは直しました。これがそろえて、あとはよく見ますと、子供の漢字の子供になってる場合があったもので、それも、通常の子どもに平仮名の子どもっていうふうに、そこを細かく言うとそういうのはみんなそろえてます。

長 島：12ページなんですけども、全体としてのところの意見で、二つ目のご意見の毎年この評価項目を読ませていただいとこの続きで、本当に多岐にわたる活動、委員会事務局っていうこの言葉が、委員会事務局だと、何かちょっと分かりづらい。

佐 野：そうですね。教育委員会って入れましょうか。何の委員会か分からないですよ。

長 島：ちょっと分かりづらかった。それと引き続き、この13ページのことなんですけど、下から三つ目の意見の、JETプログラムのことなんですけど、そこをずっと読んでしまして、2段目の段の推進委員会を作成したということで、これは委員会を作成っていうのはちょっとおかしいから。

佐 野：発足とかそういうふうな感じのほうがいいですよ。変更いたします。

教 育 長：ありがとうございます。そのほかはどうでしょうか。よろしいでしょうか。ないようでしたらいいですかね。

教 育 長：第5号議案「令和7年度西伊豆町教育委員会自己点検・評価報告書の議会への提出について」賛成の方は挙手をお願いします。

（委員：全員挙手）

教 育 長：挙手全員です。よって第5号議案については可決されました。

教 育 長：ありがとうございました。

本日の議事案件は、すべて終了いたしました。以上をもって、令和8年度第3回の定例会を終了します。皆様、お疲れ様でした。ありがとうございました。